

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、24～28℃台を示し、やや低い～かなり低い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり6トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年並み）。五島奈留地区では、ゴマサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり9トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり7kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり20kgの水揚げで、前週の8%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり50kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり225kgの水揚げで、前週の13%（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり47kgの水揚げで、前週の3.6倍（前年を上回った）。
- 定置網――対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり188kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり234kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、イサキが1日当たり336kgの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（7/20日～7/24日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は、全船が出漁（日付変更線付近及積丹沖～武蔵堆周辺、能登沖に南下船あり）。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖～能登半島～佐渡沖～山形沖～青森沖にかけて出漁した。

鳥取県漁協境港支所 1日延1隻、総計13箱。スルメイカ（バラ入）2箱、ケンサキイカ（2立～3立半）11箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ

「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>